



- はじめに ■コスチュームウィーク
- Summer School Report
- 新着情報・お知らせ ■今月の誕生日
- 小学生対象イベント ■小学生にお勧めの動画
- 日本の英語教育って非効率？

### はじめに

英語が話せる人が必ず聞かれる質問って皆さんご存じですか？

それはすばり「英語は何から始めればいいですか？」という質問です。本当に良く聞かれます。聞きたい気持ちも分かるし、私もかつて高校の英語の先生に聞いたのを思い出します。その先生は一言「(つべこべ言わずに) やるっきゃないのよ」という訳の分からない答えにモヤモヤした気持ちになりました。

人によっては単語を覚えてとか、文法を学べとか、シャドーイングしてとか、音読して等、それぞれ答えが違います。では、あなたごも、外国人の方に「日本語は何から始めればいいですか？」と聞かれると何と答えるか想像してみてください。多分その答えがあなたにとって、一番ベストな英語の勉強の始め方かと思えます。なぜかとうと、人によって勉強方法は違う、勉強のスピードも違う、習い方も覚え方も違うからです。感覚で覚える人もいるし理論で覚える人、そして実践で覚える人もいたりして、本当にいろんな学びのスタイルがあります。

30~40人いる学校のクラスを想定してみてください。同じ授業内容にもかかわらず、情報の定着率が生徒によってまったく違ってきます。理論的に説明すれば理解できる子供もいれば、感覚的に情報を吸収する子供もいます。みなさんは経験を通して、自分の学びのスタイルを無意識的に確立しているの、外国人から「日本語は何から始めればいいですか？」と聞かれた場合、あなたにとってベストな勉強法を相手にも提案する傾向にあるのです。

英語はまず基礎(文法・単語)、音、量が大事なのですが、その大原則を意識しながら、いろんな方法論に惑わされることなく、まずは自分の学習スタイルで英語学習を始めてみませんか？ 応援しています。

お盆明けから早速ハロウィーンの飾りがあちらこちらで見られるようになりました。日本でもいつの間にか大きなイベントになりましたね。

今年も季節のイベント「コスチュームウィーク」を開催いたします。好きな衣装をつけて通常クラスにご参加ください。

授業では、ハロウィンにまつわる英語を楽しみゲームを交えて学習します。衣装をつけるだけで、なぜかテンションアップ。「非日常」を生活に取り入れると、脳や身体の活性化となるし、「いつもと違う自分」を体験する事で、新しい発見ができるかもしれません。

保護者の方も忙しい毎日をお過ごしかとは思いますが、どうかお子さんとちょっとした「非日常」を一緒に楽しんでみてください。

### ★開催日★

**10月24日(火) ~ 10月28日(土)**

※スーパードラークラスは簡単な「Trick or Treat」をする予定です。



## 小学生対象ハロウィンイベント

小学生を対象に、ハロウィンムービーパーティを企画しています。ハロウィンのキャラクター満載の映画「モンスターホテル」を鑑賞し、ハロウィンにまつわる英語を学びましょう！

10月22日(日) 南ウッティタウン駅前教室にて。  
詳細は別紙にてお渡します。



●《重要》翌月からの各種変更(休会・退会など)の手続きの届出締切日は20日までです。お間違いのないようお願い致します。一部欠席された場合、あるいは20日までに休会・退会のご連絡がなかった場合、特別な理由を除き後からの払い戻しはできませんのでご了承ください。

●当教室での第2回英検テストは10月1日(日)です。受験予定の方は、別紙でお知らせした詳細を今一度お確かめください。

●子供達のクラスの様子をご報告するEvaluationを随時お渡ししています。ご確認ください。

●10月31日(火)~11月4日(土)は調整週の為、すべてのクラスがお休みです。

●コスチュームウィークの写真は会員限定ページに掲載いたします。11月末までご覧いただけます。

●【あかしあ台教室】送迎の車の数が増え、時間帯や曜日(木曜日・金曜日)によっては教室前が車で混雑し、近所の方や通行されている方々の迷惑となっています。混んでいる時間帯を避ける、教室前ではなく近くでお子さんと待ち合わせ、お車以外でお迎えに来ていただく、といった工夫をしていただければ助かります。

●多読アプリ有料貸し出し受付中：600円/月×2024年3月までの月数

●《10月~11月の補講日》補講の予約をキャンセルする場合は、確認メールよりお手続きください。

スーパーキッズ	14:55~15:25	10月14日(土)	11月18日(土)
キッズ①&①+	14:55~15:25	10月21日(土)	11月25日(土)
キッズ②&②+	18:20~18:50	10月17日(火)	11月21日(火)
キッズ③&③+&キッズ④	18:20~18:50	10月24日(火)	11月28日(火)
キッズ④以上/中学生	14:00~14:30	10月7日(土)	11月11日(土)

## ARK ACADEMY



フェイスブック   インスタグラム   ホームページ   補講予約ページ

〒669-1323 三田市あかしあ台4-8-1  
Tel / Fax : 079-563-3132 mail: info.ark.academy@gmail.com

# 日本の英語教育って非効率？

アークアカデミー通信9月号でも触れたのですが、23年度の全国学力テストの結果、中学英語の「話す」の正解率が12%というニュースに衝撃を受けた英語教育関係者は多いのではないのでしょうか？小学校の4年間と中学での英語を合わせて6年以上も「スピーキング重視」の教育を受けたにも関わらず、結果が伴わなかった事実を重く受け止める必要があるし、子供にとっては貴重な時間、どこかに無駄がなかったのか真剣に検証する必要がありますかと思えます。

英語がなかなか身につかない理由の一つは、英語と日本語はまったく違う言語であるということも大きな理由かと思えます。発音、文法、スペリング、そして文化的な背景も全く異なる言語です。でもそれ以上に「学び方の効率が悪い」というのが最大の理由かと思えます。

「スピーキング重視」といっても、大学共通テストにおいてスピーキングは25年度も導入は無理。中・高は大学入試試験が目的となっているので、テストに出ない課題には極力時間もエネルギーも使いたくないと思うのは当然のことかと思えます。本屋さんに溢れるように並べられている中・高生向けの英語の参考書を見ても、スピーキングに特化した参考書はほぼ皆無です。また、スピーキングはインプットしたものをアウトプットするものなので、喋る喋ろと言われても、インプット量がないと歯が立ちません。

また、小学校英語と中学校英語への連携がうまくいっていないというのも効率の悪さの一つです。イメージとしては、畑（小学校）で育った苗をいきなりコンクリート（中学校）に移される、そんな感じです。土壌がまったく違います。

一方、英語圏は学者がデータを収集し、最も効率的な方法で言語を身につける手法を体系化し、「標準的な手法」として政府が広めています。特にイギリスは先進国だなと思えます。なぜ英米はこの様な手法が発達しているかということ、移民国、植民地を抱えた国として多様な人間がいるため、言語を素早く身につけさせることが国家運営に最も重要なことの一つであるからです。言葉がわからないとすべての活動に影響が出てきます。

また英米は日本のような寺子屋がありませんでした。これはアメリカは植民地であり、イギリスは階級制度が強い国家であるため、庶民が幅広く言葉を学べる仕組みがありませんでした。したがって中央政府が言語学習法を体系化し、広める必要がありました。その様な背景があって、学習法の科学的分析と体系化が進んでいったそうです。

言語習得が、国家の生き残りを左右する、そんな緊迫した背景があるので、効率的・効果的に体系化した手法が生まれざるをえない状況だったのかと思えます。特に近年、英米の幼児や若年教育、移民向けの英語教育では、効率よく言葉を学ばせる方法が主流になっています。当教室で使用している多読アプリも、体系的に英語の文法や語彙力が伸ばせる仕組みになっていて、使えば使うほど、よく出来ているな〜と感心する事がしばしばあります。また、言語習得のコアとしてフォニックス（読み方）を位置づけています。ちなみにイギリスのフォニックスの教材でとても優れているのが「Jolly Phonics」。世界140カ国で使用されていますが、その特徴は多感覚アプローチ。子どもだけでなく、「人」には各自がもつ学びやすい方法があります。ジョリーフォニックスでは、一つの文字に対して「絵を見る」「お話を聞く」「声に出す」「動作をする」「書く」「触れる」「想像する」といったたくさんの方を使うことで、子ども自身が自分の得意な部分を使って修得できるのです。「人種」の違いだけではなく、「性質」の違いも考慮した言語習得法なのです。イギリスにおいても1970年代くらいまでは、日本と同じように、読みや綴りを「丸暗記」に頼っていましたが、2000年代になりフォニックス（特にシンセティック・フォニックス）が体系化され、一気に識字率が向上しました。

フォニックスの次は頻出度の高い単語や文章を優先的に学ばせる方法です。日常生活の中でよく使う単語は決まっているので、それらの単語を早く身につけると効率が良いのです。日本の英語教育はボトムアップ式で、「簡単」から「難しい」へと学習していきます。仮定法のwould やcouldも中学3年生で学びます。でも実際の生活では、これらの単語は頻繁に出てくるので、早い段階で読みやスペルを学びます。そちらの方が効率が圧倒的によいのです。また、最も重要な単語のグループが「動きの動詞」です。「とる (take)」「走る(run)」「食べる(eat)」「手に入れる (get)」などで、日常会話や作業で最も重要な単語を優先的に学びます。英語圏では、それらの単語をカードで楽しくゲームをやりながら読み書きを学びます。

英語を学ぶ子供達が最初に躓きやすいのが、実は読み書きです。そしてここで躓くと、その先の英語学習が苦痛になってしまいます。そうした周知の事実を考慮し、「なんとなく遊んで楽しかった」という活動ではなく、まずは音と綴りの関連性をしっかり小学生の間に習得するという現実的な目標があれば、中学英語への土台、そして英語スピーキングへの自信にも繋がっていくのではないかなと思えます。

ただ、フォニックスを指導できる小学校の先生は非常に限られていて、民間の英会話教室等の頼らざるを得ない状況も事実で、教育格差のギャップを埋めていくにはどうしたらよいか、1人で紋々ももんもんと考えている今日この頃です。



## おめでとうございます！

# 小学生にお勧めの英語動画



子供の英語番組といえば「ディズニー」と思う方も多いかもしれませんが、実はアメリカでは子供にディズニーは見せない、という家庭も少なくありません。政治的アジェンダのゴリ押しがひどいと感じているパパやママも多いのです。アメリカの無難なTV番組といえばPBS。PBSとはアメリカの約350のテレビ局が加盟する非営利・公共放送ネットワーク。「PBS KIDS」は日本の「Eテレ」みたいな教育チャンネルです。「Curious George」「Sesame Street」等たくさん的人气キャラクターの番組が放送されていて、ある本には、「3〜6歳の間に、PBS KIDSの番組から『お気に入りのキャラクター』を見つけることができれば、その後の『リーディング学習』がスムーズに進む」と書かれていました。

その中でも小学生にお勧めなのが「Wild Kratts」。我が家の子供達もみごとにはまりました。この番組は自然、野生動物、科学をテーマとした子供向けのアニメーションで、Kratts ブラザーズと呼ばれる実際の兄弟が冒険をしながら動物たちの能力や生態を紹介してくれます。二人の会話のテンポも早く、英語初心者には難しいかもしれませんが、しかしそれでも問題なし！動物学者の二人が紹介する動物の特徴や能力、生態系は大人が見ても面白く、それだけでも見る価値は十分にあります。

語彙レベルは英検準1級程度なので、大人でもヒアリングや語彙力アップに役立ちます。なんせ面白いので、「英語を勉強している」という気持ちにならないところがGOOD。英語学習は環境がとても大切なので、アニメで楽しく英語に触れられる環境を整えてみませんか？

Wild Kratts Youtube公式ページ



# 10月&11月のスクールカレンダー

10月							11月								
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
					1						1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12		
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19		
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26		
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30					
30	31														